

令和2年度生涯学習推進施設運営委員会における主な意見と当研修センターの考え方

県立東部・西部社会教育研修センター

生涯学習推進施設運営委員会は、当研修センターの運営及び事業に関する事項についての協議・検討を行う委員会です。令和2年度の委員会では、各委員から、中堅公民館等職員を対象にした研修の実施、社会教育関係者を支える市町村の職員を対象にした研修の充実、地域魅力化プログラムの活用と普及等たくさんのご意見、ご助言をいただきました。主な意見と当研修センターの考えは下記の通りです。

意見①

経験年数がある社会教育関係者を対象にした研修を実施してほしい。

回答

当研修センターでは、公民館等職員や社会教育委員、市町村社会教育担当者、その他社会教育に関わる方等で経験年数3年程度までの方を対象とした「しまねの社会教育基礎講座」を実施しています。一方で、経験年数10年程度の公民館等職員をはじめとする社会教育関係者の研修ニーズが高いことが認められます。ご意見をふまえ、対象やニーズを把握したうえで、令和4年度の実施に向けて準備をすすめてまいります。

意見②

「地域魅力化プログラム」を普及・活用するためには、それぞれの地域で地域課題が把握、明確にされていないといけないのではないかと。

回答

本プログラムは、“地域づくりに主体的に参画できる人づくり”を支援・推進するために開発され、各地域の課題に対応できるように作成した参加型学習の手法を用いた学習プログラムです。本プログラムを活用するためには、ご意見のとおり、地域課題を把握し、明確化していくことが大切であると考えます。本プログラムには、住民が地域課題を見出し、共有化していくプログラムもありますので、活用していただければと思います。

また、当研修センターでは、学習プログラムの開発・普及とともに、人材養成研修として、公民館等の職員を対象に、地域課題を明確にしたうえで、学習課題を設定し、課題解決に向けた事業づくりを行う研修を実施しています。これからも“地域づくりに主体的に参画できる人づくり”を支援する研修となるよう努めてまいります。

さらに、研究・調査の一環として、県内公民館等の協力を得て、公民館等実態調査を行い、公民館等で把握している地域課題や事業の状況等をお知らせしています。本調査が県内公民館等の参考となり、地域課題の把握、課題解決に向けた事業づくり等に活用いただけるよう努めていきたいと思っております。

意見③

公民館等の実践発表は、地域性や公民館主事のカラーが表れるので、とても参考になる。ぜひ、研修に実践発表を取り入れてほしい。

回答

当研修センターでは、ほとんどの主催研修に公民館等職員をはじめとした社会教育関係者の実践発表を取り入れています。“実践から得る学び”ほど深いものではありません。今後も、県内外の優良な実践の情報を把握し、社会教育関係者の皆さんの参考となるような研修の実施に努めたいと思います。

意見④

研修の成果がどのような効果を生んでいるのか。研修への参加者数だけでなく、その先の波及効果を評価しなければならないと思うが、それらをどのように評価していくのか。

回答

研修の成果と効果については、研修受講者数やアンケート調査はもとより、事後の聞き取り調査等も実施し、より多面的にかつ継続的にみています。波及効果の評価については、一概に研修の効果と言い切れない部分もありますが、県や市町村担当者、市町村に配置されている派遣社会教育主事と連携をとり、実態や状況の情報共有を図って、評価に生かしています。

また、当研修センターの調査・研究事業である公民館等実態調査、親学プログラム活用状況調査、市町村における社会教育に関する研修実施状況調査の結果を分析し、県内の社会教育の状況を把握し、研修の企画実施に生かしています。